

単元名 みんなで視線を集める！	備考 制作などの授業に取り入れる。
指導アイデアの説明 <ul style="list-style-type: none"> 実践内容は非常に単純で、教員が「注目！」と生徒に呼びかけ、教室内の生徒全員が顔を上げて、1人の教員に視線を向けるまでのタイムを計る、というもの。必要な道具はストップウォッチのみ。 前提として、美術や実習など生徒自身が継続的に作業に取り組むような状況で、行うこと。（他の何かに集中していることが重要） その場でタイムを発表し、作業や制作に戻る。教員は通常授業を行いながら、「注目！」と呼びかけるタイミングを計る。1回の授業で4～5回行い、より短時間で注目できることをめざす。 もちろん、注目が集まったタイミングで、授業についての説明や補足を行ってもよい。 	
対象 (学習グループ例)	全体での説明を無理なく聞くことができるグループ
目的 ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 集中力を高める。 作業を行う時間と、説明を聞く時間の切り替えができるようになる。 長期的に繰り返し行うことで、授業以外の時間でも気持ちの切り替えをスムーズに行うことができる。
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に対しても、ねらいをきちんと説明することが必要。 良いタイムが出たらしっかり褒める。 状況（授業中の雰囲気）や生徒の慣れ（経験値）を考慮して、少しずつ難易度を上げる。（全員が注目できるまでの時間を予測する）
備考	<ul style="list-style-type: none"> 過去の最速タイムを黒板に書いておく、なども効果的。子どもたちの向上心を刺激して記録更新をめざす。